

## 2) 各広場の整備計画案

### ① にぎわいの広場

従前からのイベント会場としての役割を継承しつつ、新本庁舎敷地内広場や表小路線、つなぎ横丁、定禅寺通など周辺と一体となったにぎわいの広場として整備を行う。新本庁舎敷地内広場や表小路線と連携した広場としての利活用を視野に入れた大広場空間の形成や新たに設けたにぎわい南口のエンタランス機能により保存樹林や彫刻「時の広場」を活かした出会いと交流の場の形成などを行う。



にぎわい南口から出会いのテラスを望む。(イメージ)

## 2) 各広場の整備計画案

### ② いこいの広場

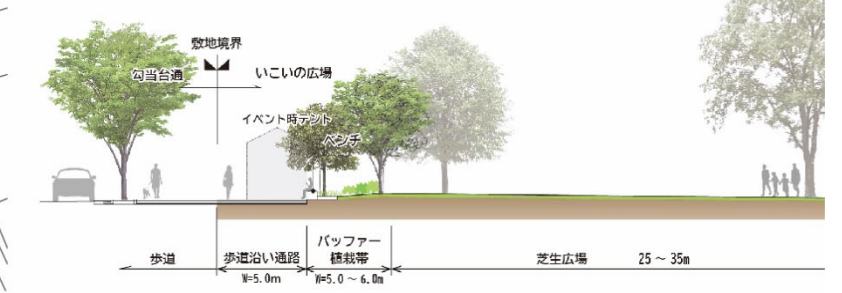
豊かな緑と潤いのある環境の中で、園内の風景を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごす、くつろぎといこいの広場。杜の都仙台の象徴である都心部の豊かなみどりによる居心地の良い空間の形成を行う。大小さまざまな音楽イベントに対応する野外ステージへの改修。快適な普段使いが可能となる下段部の芝生広場として整備を行う。



芝生広場や飲食店を望む。(イメージ)



勾当台通側のバッファ植栽(A-A'断面図)



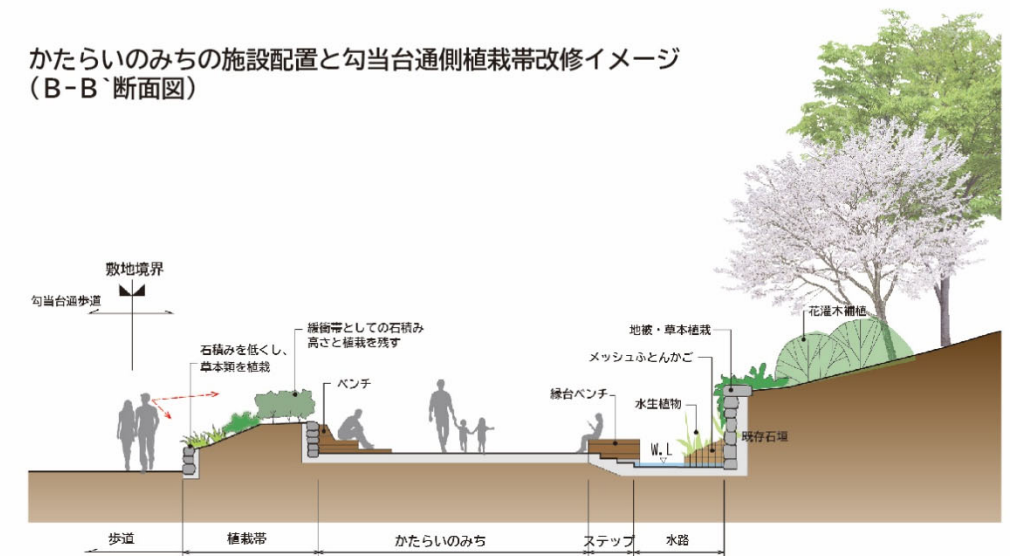
## 2) 各広場の整備計画案

### ③かたらいの広場

勾当台公園と周辺地区を巡る街歩きの中で一刻の休息の場を提供し、そこに垣間見える仙台の歴史や文化にふれ親しみ、語らう広場として整備する。既存水路を活かした親水性を高めた水路際の整備、既存の古図広場のジオラマを活かした滞留場所の形成、道路歩道からのスムーズな通行を可能とする出入口のバリアフリー化などを行う。



かたらいのみちの施設配置と勾当台通側植栽帯改修イメージ (B-B'断面図)



・パース

鳥瞰 新本庁舎からの眺め（休日の昼間のワンシーン）

- 新本庁舎敷地内広場～表小路線～市民広場～つなぎ横丁～定禅寺通～一番町四丁目商店街が一体的に活用され、そこでは多種多様なイベントが行われ連続したにぎわいが生まれる。そのにぎわいに集う、多様な人々が新たな出会いの場となり、この出会いから生まれる新たな活動がまちの魅力やエリアの価値向上を生み出す。
- 新たに設けられる勾当台公園の顔となるにぎわい南口では、いきい広場や東二番町通、定禅寺通から人々を受け入れるエントランス機能となる。にぎわい南口からつながる出会いのテラスでは彫刻「時の広場」が待ち合わせスポットとなり、この公園で新たな出会いが生み出される。



※このパースは基本計画最終案段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

## 鳥瞰 いこいの広場（休日の昼間のワンシーン）

- 勾当台通からシームレスにつながる下段部の広々とした芝生に覆われた平坦な広場は都心の空間にゆとりと潤いを与え、日常的に多様な人々が自由な場所で飲食や休息といったくつろぎの場や、広場全体が見渡せることで親も安心して見守れる子供たちの遊びの場を提供する。
- 「杜の都仙台」を象徴する都心部の豊かなみどりに囲まれた空間は、人々にいこいの場を提供し、河岸段丘の高低差が生み出す立体的で奥行きを感じさせる水とみどりの景観や公園外周部のオフィスビルの足元を縁取る公園の豊かなみどりの景観を生み出す。
- 上段部の野外ステージは趣のある森の風景と野外ならではの開放感を継承しつつ、大小さまざまなイベントに対応した「森のステージ」としてリニューアルする。



※このパースは基本計画最終案段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

鳥瞰 かたらいの広場（休日の昼間）

- 河岸段丘によって生み出された「段丘のみどり軸」に沿って連なる石積みや水路、緑などの歴史と文化を感じ語らいながらそぞろ歩きを楽しめるみち空間を生み出す。
- 古図広場のリニューアルによって生み出される「中町広場」は、バスや地下鉄利用者等の新たな待ち合わせの場や街歩きの中での一休みの場となる。



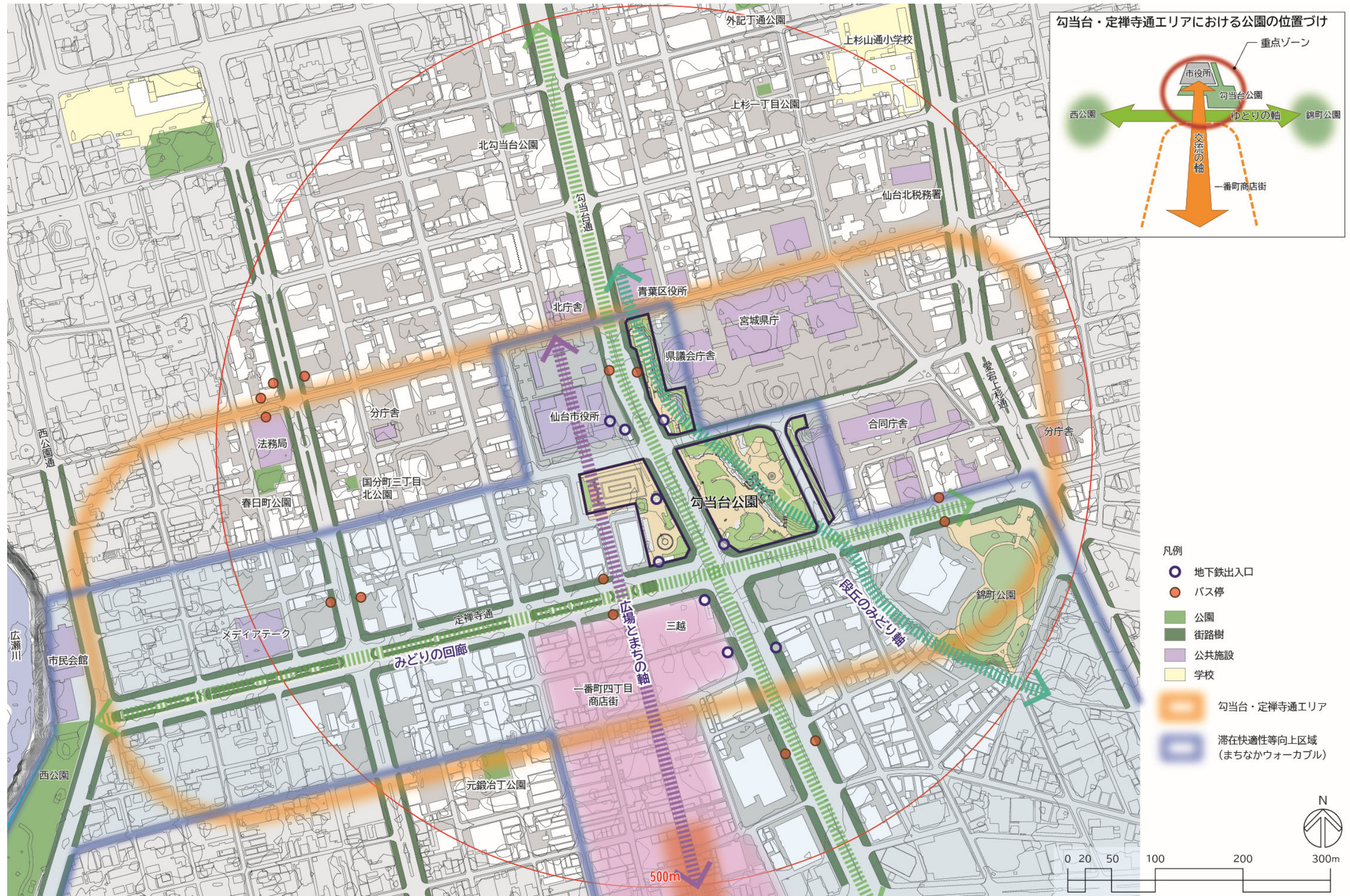
※このパースは基本計画最終案段階での整備イメージを表すものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

### —3. 公園全体に係る再整備の計画案

新本庁舎敷地内広場をはじめとする勾当台・定禅寺通エリアとのつながりを踏まえて、公園全体の方針、公園全体に共通する再整備の方向性や既存施設等の保全・活用方針を定める。

#### 1) 公園全体の方針

基本構想での基本理念や基本的方向性を踏まえて、公園全体の方針を「開放的で市役所新庁舎や定禅寺通など周辺とシームレスにつながる『交流』の場づくり」、「周辺の緑と一体となって都心における『ゆとり(質的な暮らしの豊かさ)』を実感できる開放感あるデザインの導入」、「段丘のみどり軸に沿った散策動線強化や公園入口と街角の一体化など、ウォーカブルな広場づくり」と定める。



## 2)公園全体に共通する整備の方針

基本構想にて示した公園全体に共通する再整備の方向性について、公園周辺の状況や他事業による整備方針を踏まえ、勾当台公園全体の再整備方針を設定する。

### ① グリーンインフラ

勾当台公園一帯は、都心においても緑被率の高い地区である。勾当台公園を核とした東西に延びるパークシステムや南北に延びるみどりの回廊と段丘のみどり軸などの緑のネットワークと一体となり、勾当台公園の緑資源を活かした暑熱緩和や生きもの生息環境の創出、透水性舗装等での雨水の浸透や貯留機能を高めることによる下水道など都市インフラへの負荷軽減など都心に環境改善効果をもつグリーンインフラの整備を進める。

#### 緑地分布現況図



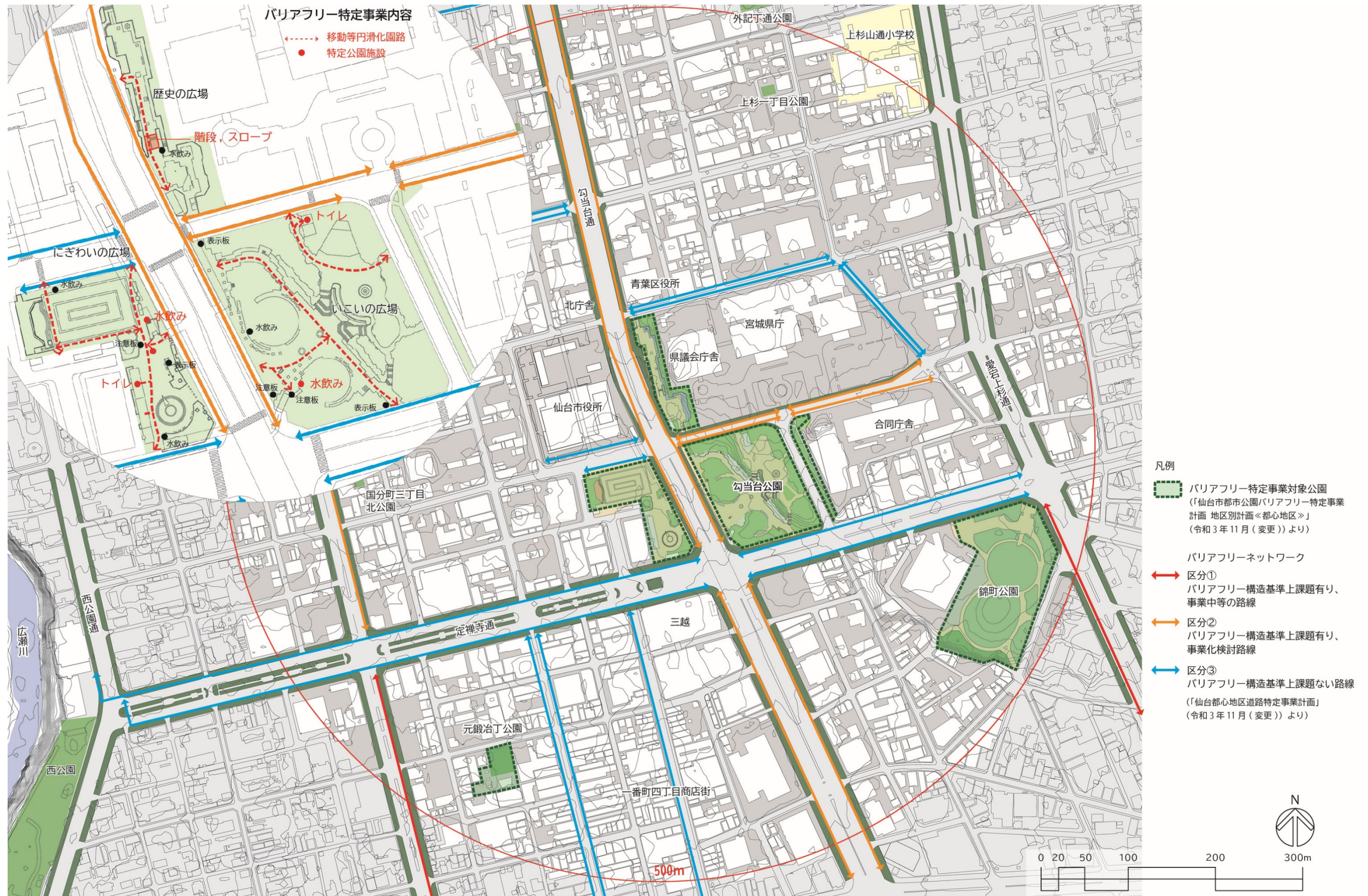


## 2) 公園全体に共通する整備の方針

### ② バリアフリー

勾当台・定禅寺通エリアビジョンで示された重点ゾーンにおけるシームレスな利用空間づくりの実現に向け、周辺との連絡性と案内機能の向上を図り、誰もが楽しみ、利用できる公園づくりを進めることが求められている。そのため、本公園のバリアフリー特定事業計画及び周辺地区一帯で進められている道路のバリアフリー化事業との整合を図った公園のバリアフリー化を重点的に進めていく。

#### バリアフリーネットワーク図



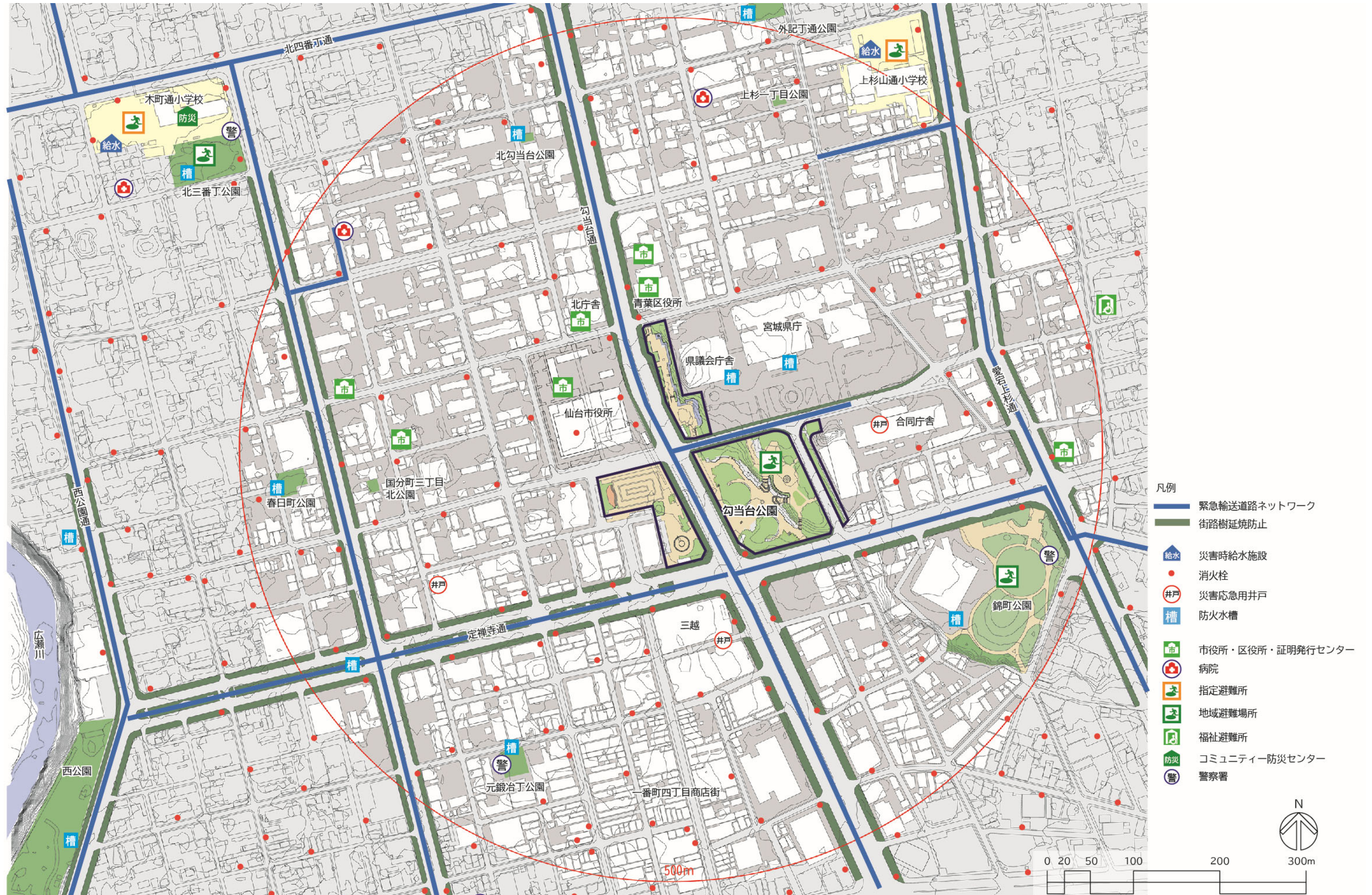
※仙台市役所は建替え後のレイアウトとしている。

## 2)公園全体に共通する整備の方針

### ③防災強化

本公園は市防災計画では地域避難場所に位置付けられている。新本庁舎や周辺施設との連携に配慮して、既存樹林の延焼防止機能や多くの人が集まれる市役所と一体となれる広場、定禅寺通など避難経路となる緑のネットワークとの構築、災害時に広場が防災拠点として活用されるといった地域避難場所の機能も維持しながら防災機能の強化を図る。

#### 防災関連施設現況図



※仙台市役所は建替え後のレイアウトとしている。